ぶんぱく探偵手帳

なまえ

ほんかん
本館
2F

チャレンジ1
屏風で昔にタイムスリップ！





京の歴史コーナー　撮影／三森 寛

展示室には、江戸時代に鴨川の河原で人々が
どのように夏を過ごしていたかがわかる映像があるよ。見てみよう！

1 何が描かれているかな。

どんな人々の様子が描かれているかな。

2 動く屏風の画面を見ていると、左端に大きな橋が見えてくるよ。
この橋がかかっている道は京都文化博物館の別館まで続いているんだよ。この通りの名前がわかるかな。

（ひらがな５文字）

					ど	お	り

ほんかん
本館
2F

チャレンジ2
2階総合展示室で見つけよう！



3 展示室の入口のフロアに京都市を空から撮影した写真があるよ。くねくねと曲がった太い線は何かわかるかな。

（ひらがな2文字）



空から街を見るといつも見慣れている街も全く違って見えるね！



4 これは瓦の一種です。なんの顔かな。

（ひらがな2文字）



わしには厄よけの意味があるんじゃ。
屋根の角につけてくれたら
わしが災いからお家を守るのじゃ♪

チャレンジ３
折れ曲がった皿の謎！

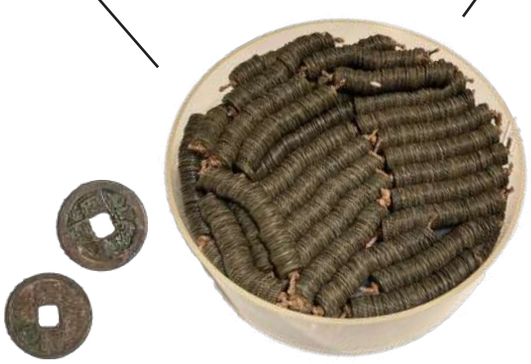


5 両端が折れ曲がっているお皿があるね。
これは昔、京都で使われていたものだよ。
このお皿のなまえを当ててみよう！

（人の体と似ている形を探してみてね♪）

① **首皿（くび）**　② **口皿（くち）**
③ **耳皿（みみ）**　④ **肩皿（かた）**

6 これ、なぁ〜んだ？



① **髪の毛（かみのけ）**
② **クッキー**
③ **お金（かね）**

7 じゃあ、これはなぁんだ？



作り方も
解説されているよ。

① **鏡（かがみ）**
② **フライパン**
③ **うちわ**

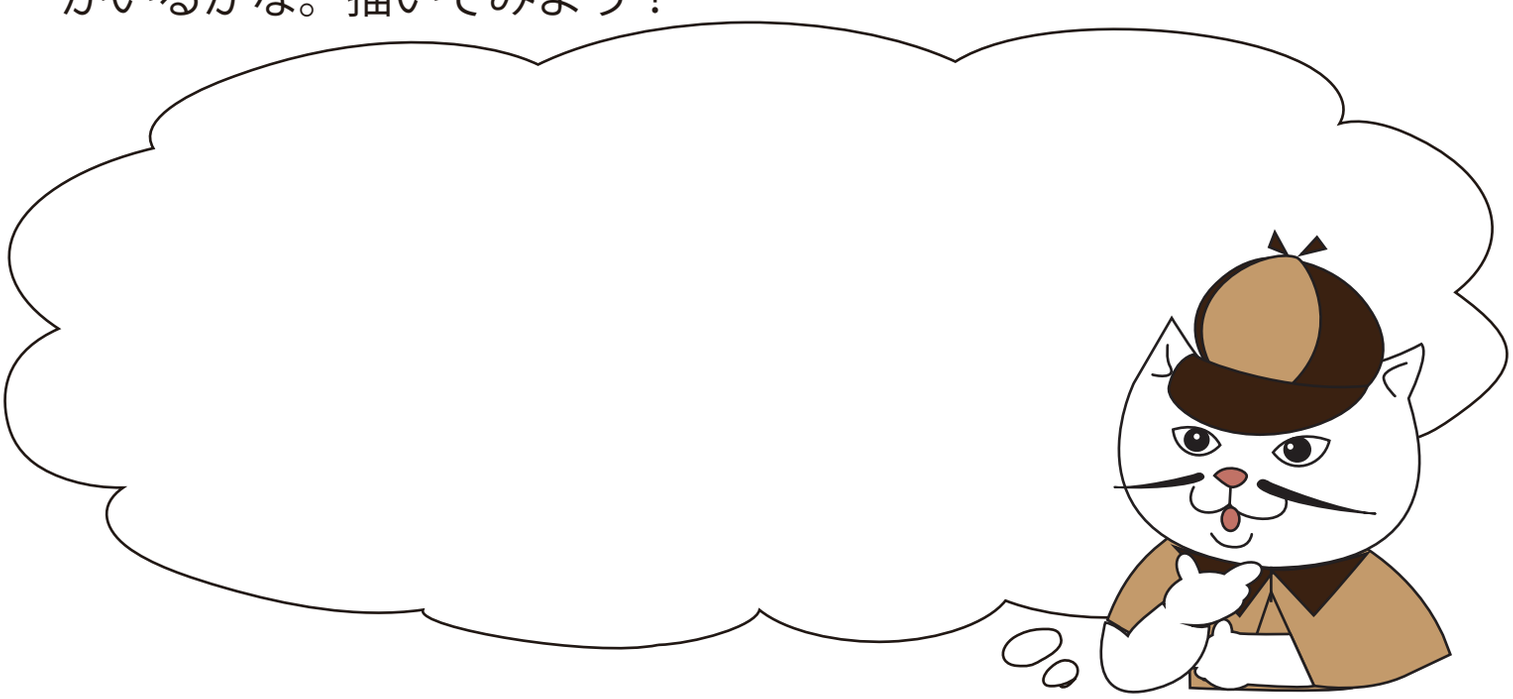
ほんかん
本館
２Ｆ

チャレンジ４

職人の手仕事に注目！



室町時代から江戸時代にかけて、京都にはたくさんの職人や商人が生活していました。そんな様々な職人の姿を当時の絵画をもとに復元した模型があるよ。上の写真は一服一銭というお茶屋さん。安いお金でお茶をのませてくれたんだよ。ほかにどんな職人さんがいるかな。描いてみよう！



ほんかん
本館
1F

チャレンジ5
正面入口の謎にせまる！

1階の正面入口（高倉通側）を出たら昔、水が流れていたあとがあるよ。
模様を探してみよう！





これは道の端にあった溝の跡で、
横に通っている高倉通の道幅は
今より広い 12m もあったんだよ。

ランドセルを1列にすると40個も並べられるんだ！
すごいね！！

ほんかん
本館
1F

8 ろうじ店舗のお店の前に吊り下げられている杉玉。何屋さんの前にあるかな？



杉玉とは・・・
杉の葉を集めて丸くしたものだよ。
軒先に新しい杉玉をつるすことで新酒ができたことを知らせたんだ！

中庭

チャレンジ6
不思議な石の正体は！？

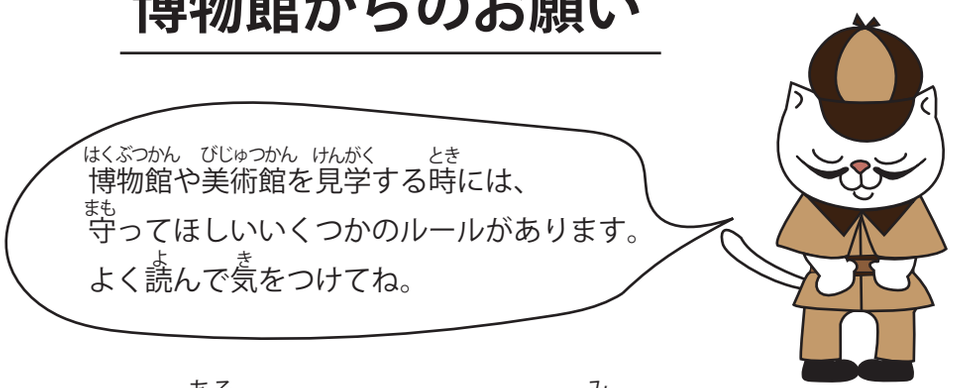
9 中庭に大きな石があるよ！これはなんだ？この石は建物の柱を支えていたんだよ。



①ただの石　②そせき（礎石）
③さざれ石　④かせき（化石）

ヒント
ちかくに看板があるから見てみて。

博物館からのお願い



1 ゆっくり歩こう、じっくり見よう

人にぶつかってけがをしたり、展示ケースにぶつかって、展示品をこわしたりするかもしれないからだよ。

2 お話は小さな声でね

静かに見たい人もいます。展示品に集中して見てみよう。

3 えんぴつを使おう

スケッチやメモをとる時は、えんぴつを使いましょう。ボールペンやシャープペンの金属は、展示品を傷つけるかもしれないし、インクで作品を汚してしまうかもしれないからだよ。

4 食べ物、飲み物は ×

博物館や美術館の中では食べたり飲んだりしてはいけません。作品を汚してしまうかもしれないからね。

5 カメラ・携帯電話はルールにしたがって

博物館や美術館の中には写真撮影ができない場所もあります。掲示を確認したり、係の人にききましょう。電話での通話は展示室の外でお願いします。

問題の答え

1 たとえば、踊っている人、泳いでいる子どもたち、馬や駕籠に乗って橋をわたる人々、うどんや心太などをふるまう料理屋さん、瓜を売ったり、食べたりする人々、大道芸や人形遣いで人々を楽しませる人、お風呂にはいる人など。ほかにもたくさんあるね。



2 さんじょう（三条）

3 かわ（川）

4 おに（鬼）

5 ③
箸置きとして使われていたと考えられているよ。

6 ③

7 ①

8 さかや（酒屋）、おさけや（お酒屋）

9 ②
平安京の大極殿という重要な建物の柱に使われていた礎石（そせき）って言うんだよ。
なんで石を敷くのかというと、柱を地面に直接さすとだんだん腐ってしまうからだよ。建物の重さで沈んでしまわないように工夫したんだ！

THE MUSEUM OF KYOTO
京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
www.bunpaku.or.jp